彩の国 埼玉県
Saitama Cancer Center News

# がんセンターだより

第 35 号
平成25年1月1日 発行
発 行
埼玉県立がんセンター
発行責任者
病 院 長
田 中 洋 一

**基本理念 “唯惜命”**

私達は生命の尊厳と倫理を重んじ、十分な医療情報提供と患者さんの自己決定権を尊重し博愛と奉仕の精神で医療を行います。

目次

子宮頸がんの現状……1
看護師公舎もリニューアル／がん細胞の新しい性質……2
事務局のご紹介／第３回埼玉県民がんサイエンス・サロン……3
がんセンター新病院のご紹介……4

埼玉県のマスコット コバトン

## 子宮頸がんの現状

婦人科　医長
橋本　耕一

子宮がんには、子宮の入り口の頸部から発生する子宮頸がんと、子宮の奥にある体部から発生する子宮体がんがあります。

今回は当がんセンターの、子宮頸がんの現状を中心に話させていただきます。国立がんセンターがん対策情報センターの結果では、子宮頸がんの発病年齢のピークは、30-40歳代と他の婦人科がんに比べ若年にあることがわかります（表１）。また、婦人科癌（子宮、卵巣）は妊娠に関係のある年齢で一番多いがんで（表２）、20-30歳代のみ増加傾向にあります（表３）。

埼玉県でみる子宮頸がん検診率は、全国平均の21.3%を下回る、19.4%で最も低い10県に入っており、検診率の改善が急務です。

次に、当科での子宮頸がんの大まかな進行期別の管理、治療方針ですが、子宮頸部の前癌病変の軽度から中等度異形成では、３-６ヶ月の経過観察、子宮頸部の前癌病変の高度異形成が複数回、もしくは子宮頸部上皮内がん（粘膜内にのみ留まるがん）の場合は、子宮頸部円錐切除または単純子宮全摘、子宮頸部に留まる顕微鏡で診断可能な５mm以内のがん（Ia期）は、単純または準広汎子宮全摘＋骨盤リンパ節郭清、子宮頸部に留まる、肉眼で診断が可能ながんで子宮に留まっているか(Ib期)、わずかに膣に広がるもの（IIa期）は広汎子宮全摘もしくは、70歳以上、極度の肥満や合併症、リンパ節の転移あれば放射線治療、（当院では切除不可能でないIIa期の３割放射線治療を選択）癌が子宮頸部を超えて広がるものの、骨盤の壁や膣の2/3までに留まるがん（IIb期）は広汎子宮全摘または放射線治療と抗癌剤を同時に行う併用治療（当院では切除不可能でないIIb期の６割放射線治療を選択）癌が膣の2/3（IIIa期）や骨盤の壁まで広がっていれば（IIIb期）、放射線治療か抗癌剤を同時に行う併用治療、肺や肝臓のなど他臓器に転移があれば（IVb期）、抗癌剤治療になります。

2007-2008年の当科での、受診のきっかけを調べた所、前癌病変や子宮頸癌Ia期は７割が検診であるのに対し、子宮頸癌Ib期以上は、ほとんどが性器出血であることがわかります。このことからも、初期に子宮頸がんを診断するには、子宮がん検診が重要であることがわかります（表４）。

子宮頸癌は病状が進行してからの治療となると、婦人科だけでなく、放射線科、泌尿器科、外科など多くの診療科と連携が必要な、難しい病気なので、検診で子宮頸がんを早期に見つけ、当がんセンターで患者さんに、最適な治療を提供できれば幸いです。

表１

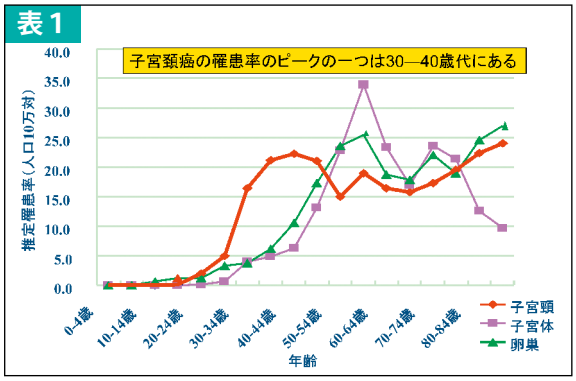



表２ ■年齢部位別がん罹患数割合［女 2001年］

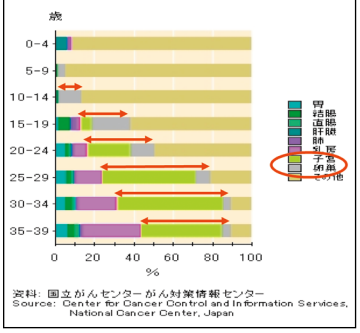



表３ ■年齢階級別罹患率複数年（女性）［子宮頸　複数年］

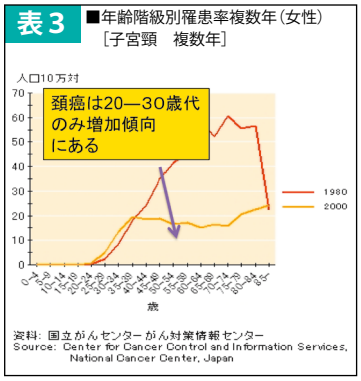
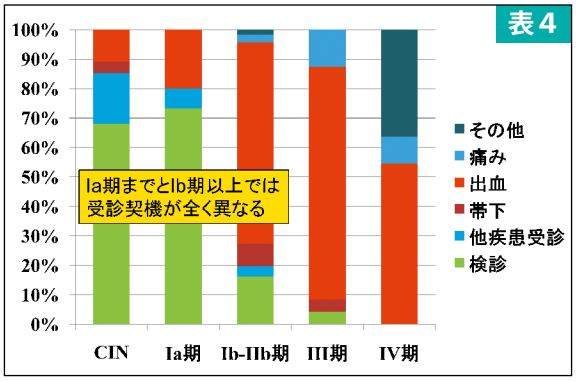



表４



## 看護師公舎もリニューアル

現在、平成25年の完成に向けて、新病院の建設が着々と進められています。職員の私達もわくわくしながら見守っています。

さて、今回ご紹介させていただくのは、新病院に先立ち完成した新しい看護師公舎です。

今までの公舎は、６畳一間・少し大きな声を出すとお隣に筒抜けという部屋でした。新しい公舎は、「太陽光発電」「太陽熱温水」を採用した省エネルギー対応で、内装も機能的に設計されています。更に、セキュリティも強化されているため、変則勤務の看護師が安全で快適に生活できる空間になりました。もちろん、男性看護師も入居できます。また、職場から近いというメリットがありますが、同時に公舎入居者は、緊急事態発生時は直ちに病院に駆けつけることが入居要件になっています。

病院も公舎もリニューアルされます。快適な公舎で疲れを癒したら、建物に負けないように、働いている私達も新しい知識や技術を身につけ、“日本一、患者さんと家族にやさしい病院”にできるよう努力していきたいと思います。

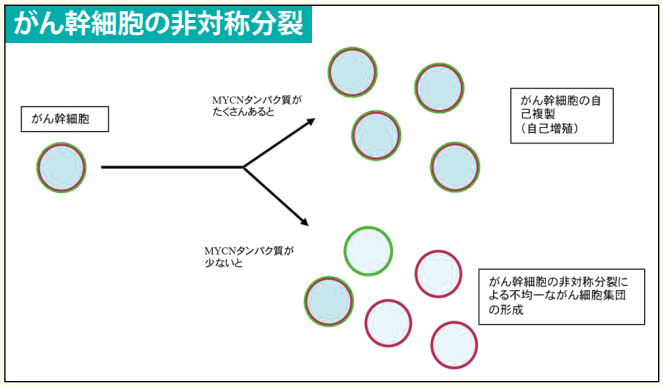
## 発見! がん細胞の新しい性質

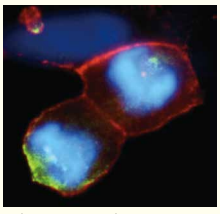
### （正常幹細胞のように非対称分裂をするがん細胞）

研究所
**泉　秀樹**

埼玉県立がんセンター臨床腫瘍研究所の泉秀樹研究員と金子安比古統括参与は、ヒトがん細胞集団の中に非対称分裂を示す細胞が存在することを画像で捉えることに成功しました。非対称分裂とは、正常幹細胞の特徴のひとつで、自分と同じ細胞を複製すると同時に、分化して死滅してしまう細胞を作りだす分裂です。この結果は、がん細胞集団の中にがん幹細胞が存在しており、がん幹胞の非対称分裂によってがん細胞集団の不均一性が生み出されていることを示しています。非対称分裂を制御できれば、がん幹細胞を分化させて死滅する細胞ばかりにすることが可能になります。今後、がん幹細胞の非対称分裂を制御する薬剤を開発し、これを用いて従来の抗がん剤が効かないがんや、転移や再発するがんに効果のある新たな治療法を開発する研究を進めます。今回の成果は、米国科学アカデミー紀要の2012年10月11日付けオンライン版に発表しました。

**がん幹細胞の非対称分裂**



**がん細胞が非対称分裂をしている様子**

細胞膜をカドヘリン（赤色）、幹細胞側と考えられる細胞膜をNuMA（緑色）、分化した細胞側の中心体をODF（ピンク色）、染色体をDAPI（青色）で染色した。

## ●事務局のご紹介

事務局の仕事内容を紹介します。事務局は業務内容ごとに６つの部門に分かれています。

### 総務・職員担当

職員の人事や服務、給与や福利厚生など、病院職員が健康的で生き生きと働ける職場となるよう環境を整えています。

### 医事・経営担当

診療費の保険請求、診療情報（カルテ等）の管理、その他医療に関わる事務的な対応をしています。また、健全な病院経営のための業務の分析などを行っています。

### 会計担当

病院の収入と支出の管理や、予算、決算に関する事務を行っています。

### 用度担当

医薬品、診療材料、及び消耗品全般について、購入や供給管理を行っています。また、医療機器の修繕などを行っています。

### 管財担当

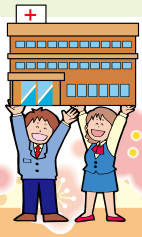
施設や設備の管理を行い、患者さんが安心して治療に専念できる環境を整えています。

### 新病院準備担当

新病院で必要となる備品の整備や移転の準備など、新病院オープンに向けた病院内の調整を行っています。

医療部門と比べて患者さんに直接接する機会は少ないのですが、縁の下の力持ちとしてがんばっていきたいと思います。

事務局は総合受付の後側にありますので、いつでも気軽にお声掛けください。



## 第3回 埼玉県民がんサイエンス・サロン

埼玉県立がんセンターにおいて「がんの謎ー見てみよう！がん細胞とDNA—」というテーマのもと11月10日（土）に開催いたしました。今回は、がんの科学面について研究者が話題を提供し、県民と共に討論し、理解を深めることを目的に実習や講演を企画しました。小学３年生から80歳代まで73名の皆様に参加いただきました。開始１時間前よりご来場頂き研究紹介ポスターを熱心に見てくださった方々もいらっしゃいました。田中病院長（兼研究所長）の挨拶に続いて、２名の研究員が、「がんとは何か？ DNAとは？」について最新の基礎知識を紹介しました。実習は、８つのグループに分かれて担当の研究員と共に、顕微鏡で肺の正常細胞と肺がん細胞の違いを観察し、乾燥したDNAや水に溶けるDNAを観察しました。その間、研究員と「がん」について様々な質疑応答や意見交換が活発に行われました。最後に久保田馨先生（日本医科大学がん診療センター部長・化学療法科教授）のご講演「がん研究と診療をつなぐ：最新の肺がん治療」を拝聴しました。研究所見学にも多くの方々に参加いただき、機器や研究などについての質問をいただきました。アンケートでは「このような会は初めてで、一緒にがんについて勉強できて良かった。」という感想をいただきました。本サロンを通して「がん」を科学することに触れ、がんの解明が着実に進んでいることを実感していただけたのではないかと思います。

（臨床腫瘍研究所　実行委員会）

# がんセンター新病院のご紹介

## 「彩の国みどりの基金」に寄附をして新病院に植樹しませんか？

がんセンター新病院は、平成25年12月末のオープンに向けて計画どおり建設工事が進んでいます。

平成24年12月段階で高層棟の地上８階部分の柱や壁、床などの躯体部分を施工中です。

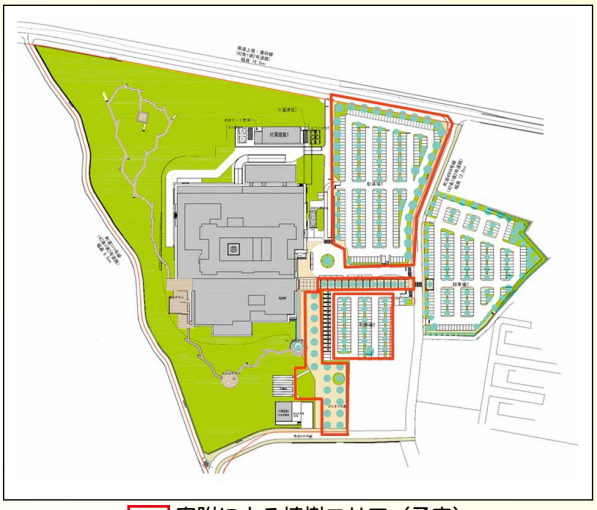
新しい病院の敷地には、植樹エリアを設け「森の中にある人にやさしい高度医療機関」を目指します。

この植樹の一部は、「彩の国みどりの基金」への寄附金を活用して整備する計画です。

「彩の国みどりの基金」では、個人又は法人が１万円以上の寄附をしていただくとお名前を記載した記念プレートを植樹した木に設置します。がんセンター新病院への植樹に是非ご協力をお願いいたします。詳しくは、がんセンターに設置のパンフレット又はホームページ（http://www.pref.saitama.lg.jp/page/syokujyu.html）をご覧ください。

東側からの工事外観（平成２４年１２月現在）

新病院外観イメージ



寄附による植樹エリア（予定）

### ◆５万円以上のご寄附の場合

- メッセージとお名前を記載した記念プレートを設置します。
- 植樹の樹種：県が植樹計画の中で決定します。
- 記念プレートの設置：メッセージ（結婚、子供の誕生、卒業、退職など）と、お名前を記載した記念プレートを樹木の周りに設置します。
- プレートの大きさ：タテ １８ｃｍ×ヨコ ５ｃｍ

### ◆１万円以上５万円未満のご寄附の場合

- お名前を記載した記念プレートを設置します。
- 植樹の樹種：県が植樹計画の中で決定します。
- 記念プレートの設置：お名前を記載した記念プレートを樹木の周りに設置します。
- プレートの大きさ：タテ ５．５ｃｍ×ヨコ １１ｃｍ